

ERCP におけるカプノグラフィー装着プロトコル作成にむけた取り組み

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

近年、医療安全の観点から治療中の適切な呼吸器系モニタリングが重要視される中、カプノグラフィーモニタリングの有用性が注目されております。カプノメーターとは、呼気に含まれる二酸化炭素 (CO_2) を測定するための機器で、呼気終末二酸化炭素濃度 (EtCO_2) 値とその波形が表示されます。その波形は、 CO_2 が吐き出される様子を表示しており、カプノグラフィーと呼ばれております。カプノメーターは、主に換気状態を評価するモニターですが、換気だけでなく循環や代謝を知る一助となります。「内視鏡診療における鎮静に関するガイドライン（第2版）」においても、鎮静下での内視鏡施行のモニタリングとして動脈血酸素飽和度測定は必須とされ、深い鎮静時は EtCO_2 が望ましいとされています。当院においても、検査時の体位をうつ伏せとし、深い鎮静を必要とすることが多い内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）においてカプノグラフィーをモニタリングの1つとして使用しておりますが、その装着基準については現時点で明確な運用ルールが定まっておりません。

今回、当院におけるカプノグラフィー装着プロトコル策定に向けた検討を行います。

診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2024年4月～2025年3月に当院でERCPを受けられた方

使用する試料・情報

年齢、性別、身長、体重、既往歴、ERCP 関連治療情報（治療時間、鎮静剤使用量）等

研究予定期間

2025年8月20日～2026年1月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 臨床工学部門 下津 弘玲士

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 臨床工学部門 下津 弘玲士

住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)